

平成28度 学校関係者評価書

長洲町立六栄小学校

【学校教育目標】 夢の実現に向け、「生きる力」を身につけた子どもの育成 ～笑顔あふれ、瞳かがやく、「けやきっ子」の育成～

【経営の基本方針】 ～学校改革の推進～

○ 教職員の本務である子どもと向き合う時間を確保するために授業改革と校務改革を積極的に推進する。

※ 自己評価の評定 A：充分達成している B：概ね達成している C：少し課題がある D：課題が多い

※ 評価の適切さ A：充分適切である B：概ね適切である C：適切さに少し問題がある D：適切でない

分野・領域	評価項目	自己評価結果			学校関係者評価委員会	
		主な取組状況	主な達成状況	評定	評価の適切さ	学校評価委員の意見等
1 確かな学力の育成	子ども達の学習意欲や思考力を高め授業改善 基礎・基本の確実な定着	<input type="checkbox"/> 伝え合い・学び合いのある授業づくりの工夫 <input type="checkbox"/> 全国学力学習状況調査、県学力調査の結果分析を生かした授業づくりの工夫 <input type="checkbox"/> 効果的な朝自習、English Dayの工夫 <input type="checkbox"/> 学力充実タイムの効果的な活用 <input type="checkbox"/> 質の高い読書習慣の形成 <input type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化のための手立ての工夫	・算数を中心とした伝え合い・学び合いのある授業ができた。研究授業は毎回講師を招聘し批評してもらった。 ・算数の表現力が高まってきている。ノートコンクールの実施でノートの使い方がとても見やすく上手にかけている。 ・全国学力・学習状況調査は全国平均を下回った領域が多く、6年生の課題が明確になった。授業作り・授業改善につなげるきっかけとしている。 ・県学力調査結果も3.4.6年生が県平均を下回る項目があったが、昨年度と比較すると伸びが見られる。領域や問題のやり直しを、学力調査にむけて準備をしている。 ・英語指導者が本校体育館で実施され、5年松下教諭が公開授業を行った。外国語教育担当教諭、ALTが100名程参加し英語授業の在り方を協議した。また、3校連携交流授業でも5年水本教諭が英語の授業を公開した。次年度からの長洲町の英語特区への準備を着々と進めている。 ・学力充実タイムを毎週実施し学力調査のこれまでの問題を解いた後、答えに解説を加えて実施している。（問題→答え→解説）複数の指導体制で指導しているので、個人に対応した学習ができている。 ・PTA読み聞かせ、読書週間、親子読書、国語教材との並行読書、必読書の設定などの取り組みを行ったが、読書量は昨年度を下回っている。学校教育支援員の先生が2日に1回の勤務の影響が考えられる。毎日常勤してほしいという保護者の要望もある。 ・学習の手引きを活用。家庭学習大作戦により、学習時間が増えてきている。	B	A	○授業づくり、授業改善、指導力の向上に真摯に取り組まれている様子をうかがうことができました。児童の学力の個人差や教師の指導力の個人差を少しでも改善して行くには、研究授業の積み重ねや毎日の児童の成長を促す情熱とその努力が必要ですが、着々とその成果をあげられています。 ○学習時の姿勢や聞く態度、ノート指導、家庭学習の習慣化などは中学校にもつながる基本的な学習習慣として大事なことですが、重点的に指導していただいていることは、小中連携の意味でも効果的ではないかと思えます。 ○伝え合い・学び合いのある授業を授業参観で見かける機会が多くなってきました。先生方が授業改善を進めていこうという意識が着実に高まっている。 ○ノートコンクールや学力充実タイムの取組は具体的でよい取組である。特に学力充実タイムの指導で解説を加えることで理解度が増すと感じた。 ○授業の中で教師が指導すべき点や指導すべき機会をとらえ指導されていた。 ○ノートコンクールの作品掲示を見て、とりわけ感心した。また、メモの取り方の授業を参観はよい内容だと感じた。その他の学力を高める工夫や努力も立派だと思った。 ○図書館司書の隔日勤務で確かに利用減となることが気になった。何とかならないだろうか。 ○学力調査結果が昨年度と比較してよかった。 ○授業作りの工夫がされていた。 ○家庭学習時間が中学校でも不足しているので小学校でも習慣化していればありがたい。小学校と中学校が連携して進めていければよいと思う。 ○相互の伝え合い、学び合いや積極的な授業態度が見て取れました。 ○学力調査は昨年比で伸びが見られるのは取組のたまものです。

2	<p>自分を大切に する心や 相手を思い やる心を育 てる。</p> <p>いじめ・不 登校の未然 防止</p>	<p><input type="checkbox"/> 体験的活動を通し た「命を大切にす る心」を育む指導の充 実</p> <p><input type="checkbox"/> 「特別な教科 道徳 」実施に向けての教 材研究の充実と授 業公開</p> <p><input type="checkbox"/> 教職員と子ども、子 ども同士の間 関係づくりの工夫</p> <p><input type="checkbox"/> いじめ・不登校・問 題行動等の未然防 止と適切かつ迅速 な対応</p> <p><input type="checkbox"/> 朝の会、帰りの会の 充実</p>	<p>・多くの学習支援ボランティアの方々の支 援で充実した体験活動が実施できた。1年 「昔遊び」2年「芋植え、収穫」3年「金 魚学習」「御正忌だご」4年「手話・点字 」「車いす体験」5年「家庭科調理・ミシ ン」、クラブ活動、菊苗植え、花いっぱい 運動等の多くの体験活動を実施し、豊かな 心の育成につながられた。</p> <p>・「特別な教科道徳」実施に向け県立教育 センターより講師を招聘して新しい道徳に 向けての準備を進めている。</p> <p>・全職員による学校公開日に道徳の授業を 公開したり、研修会の復講をしたりして、 新しい教科道徳の理解を深めてきた。</p> <p>・子どもを見つめる会やけやきっ子カード 等による児童の実態把握につとめ課題が明 らかになった。朝から体調がすぐれない 児童、自尊心が低い児童、友だちとの人間 関係に悩みのある児童等がいる。子ども を見つめる会で情報を共有して全職員で取 組んでいる。</p> <p>・不登校の児童がいない。欠席しがちな 児童の登校状況を担任、養護助教諭、管理 職で把握しながら、児童に声かけや保護 者との連携を取り不登校の未然防止に努 めている。</p>	B	B	<p>○不登校児童がいないのは、先生方の日頃からの指 導および家庭との連携の賜です。ぜひ今後も、いじ め防止とともに積極的な指導で未然防止に努めて 頂きたいと思います。</p> <p>○児童と児童、教師と児童、教師と保護者、教師と 教師の人間関係づくりによる信頼関係が児童の豊 かな心の育成に欠かせませんが、「明るく笑顔いっ ぱいの子どもの姿」を見ることができ、その関 係がうまくできている様子がうかがえました。</p> <p>○沢山のボランティアの方が学校のために関わっ ておられ、地域力を感じる。</p> <p>○いじめ、不登校、問題行動等の未然防止として情 報交換やアンケート等を定期的実施されている。 今後も継続して取り組んでもらいたい。</p> <p>○子ども達の活発な姿や不登校不在の実績をみる と体験活動や様々な取組の確かな効果が出ている と思う。</p> <p>○心の育成が一番大切だと思う。相手のことを考え る心の育成など、人権教育等を通して高めてもらえ ればと思う。</p> <p>○中学校区では、携帯電話やスマホを持つ生徒が増 え、会話によるコミュニケーション能力が低下して きている。土台になる小学校で豊かな心の育成に力 を入れてもらうのはありがたい。</p> <p>○学習支援ボランティアによる体験活動は支援し てくださる方にもコミュニティーにとってもいい 活動だと思います。</p>
3	<p>子ども達に 健康への意 識・態度を 育てる。</p> <p>子ども達に 安全への意 識態度を育 てる。</p>	<p><input type="checkbox"/> 運動量を確保した 体育授業の工夫と 改善</p> <p><input type="checkbox"/> 朝マラソンの充実 と体力テストの結 果分析を生かした スポーツDayの活動 の工夫</p> <p><input type="checkbox"/> 交通安全教育の充 実と交通事故防止</p>	<p>・体育授業と体育的行事（運動会、プール 開き、陸上記録会、持久走大会、長縄大会 ）をリンクさせることで児童は目的意識を 持ち、意欲的に学習に取り組んだ。大会と いう目標があると児童の意欲が高まり、休 み時間や昼休みに取り組む姿が見られた。</p> <p>・毎週水曜日の朝マラソンは運動場で健康 観察を行い、そのまま運動場を10分走っ ている。運動場に出たら素早く準備し活動 できる習慣がルーティーンとなっている。 朝から体を動かすことは体力向上だけで なく、脳の活性化にもつながっている。</p> <p>・職員の登校指導、PTAの下校時安全パ トロール、見守り隊の登下校指導は交通安</p>	B	B	<p>○児童に目的意識を持たせるために、体育の授業と 体育的行事をリンクさせて取り組まれている事は、 児童の意欲が高まり、体力向上に向けた効果的な取 組だと思います。</p> <p>○朝マラソンの取組は、継続的な取組で様々な効果 が期待できるのではないかと思います。「継続は力 なり」です。10分間の積み重ねを大事にしてい たいと思います。</p> <p>○交通安全については、校区の道幅が狭くなってい るところや見通しが悪いところなど危険箇所が多 く、登下校時や休日の安全確保が課題です。命に関 わることでもあり、学校でも家庭でも繰り返し機会 あるごとに指導し、身を守る態度を身につけさせ ていく必要があります。</p> <p>○体力向上を図るためにいろいろなイベントに向 けて学級が一つになって取り組んでいるところが</p>

		<p>の徹底</p> <p><input type="checkbox"/>健康観察の充実とフッ化物洗口の確実な実施</p> <p><input type="checkbox"/>給食指導の徹底と食に関する指導の充実</p>	<p>全と不審者対策につながっており、大きな事故は発生していないが、車との接触事故が1件、自転車の転倒事故が1件起こった。また、交通教室で自転車点検、乗り方指導、安全歩行を実施した。役場の指導員さんと長洲婦人会の方に協力いただいた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心安全メールの導入による学校からの迅速な情報提供及び連絡が可能となった。 ・歯磨き週間（6月「むし歯予防デー」）に養護助教諭と町の歯科衛生士さんによるブラッシング指導、フッ化物洗口を定期的な実施で歯の大切さは意識できている。しかし、むし歯の治療率は62.3%と低く課題である。春休み期間中の治療を勧める。 ・残滓ゼロ週間では、給食委員が残滓0を呼びかけたり、担任が指導したりしているので給食を残す児童は少なく、いつも残滓は0に近い。 ・給食試食会を実施したあと、栄養士の先生から食育についての講話を聞いた。（松本美紀子先生：荒尾給食センター） ・当番のエプロン・マスクの着用、配膳室へ給食を取りに行く態度は全クラス徹底している。 		<p>いいです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○体育の授業を体育館で見学できた。統制の取れた行動の美を感じた。 ○自転車の乗り方は学校外の行動部分だろうから地域の人たちの目が大切だと思う。 ○むし歯治療率の低さは何が原因だろうか。乳歯ゆえの放置からか、親又は子どもの時間の都合か、気になるところである。 ○様々な大会や朝マラソンの取組が体力向上につながっていると思う。自転車の乗り方指導は小さい頃から必要だと思う。 ○朝マラソンの取組は様々な副次的効果も期待でき、ずっと続けるとよいと思います。 ○睡眠状況については心配してしまいます。更なる指導を期待しています。
4	<p>開かれた学校作りの推進</p> <p>学校の教育活動の様子を家庭・地域に知らせる。</p> <p>地域との連携人材の活用を推進を図る。</p>	<p><input type="checkbox"/>熊本版コミュニティスクールの充実</p> <p><input type="checkbox"/>学校評価の充実と効果的活用</p> <p><input type="checkbox"/>幼・保・中や地域との連携強化と積極的な情報発信</p> <p><input type="checkbox"/>学校だよりや各種たよりの定期的な発行</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「六栄子ども育成協議会」においてワークショップ型の協議を実施し、地域の教育力をテーマに熟議を実施することができた。 ・7月と2月に学校評価を保護者、児童、教員に実施し、学校教育の成果と課題を内と外からの目で評価した。（別紙参照） ・幼保と児童の交流、新任教諭の職場体験研修（幼稚園⇄小学校）、保育園・幼稚園への授業参観等により連携を図る機会を多く設定できている。三校授業交流会（5年水本教諭とALTによる「外国語活動」）での授業では保育園・幼稚園・中学校も参加して情報交換ができた。 ・学校だより、学級だより、保健だより、図書だより等を定期的に発行し、学校の様子を各家庭・地域に発信している。 	B	A <p>○幼保小中連携や地域との連携により開かれた学校づくりが確実に推進されていると思います。</p> <p>○幼保・小中連携では職員同士のつながりの深化や、中学校に繋ぐための幼保や小学校での指導の在り方について協議し、より連携を深めてほしい。</p> <p>○保育園・幼稚園への授業参観等による連携を今後も継続してほしい。</p> <p>○ワークショップは時間不足になるケースが多い。予めの工夫が必要だと思う。</p> <p>○学校だよりは分かりやすくよく伝わってくる。</p> <p>○学校評価や学校だよりの充実、○付け隊の活動と開かれた学校作りが行われ、子どもの健全育成にもつながっている。</p> <p>○ワークショップ方式の熟議はグループ形式でより広く話が出やすく相互に話ができ大変よかった。</p> <p>○地域との連携は本当に広く、深くよくやっておられると思います。</p>

		<input type="checkbox"/> ○つけ隊の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ボランティアと保護者により1～3年生の○付けを年間9回実施している。問題を解いたらすぐに○をつけてもらえるので、児童の励みになって学習意欲に効果がある。 			
5	教育環境の充実 学びの場にふさわしい教育環境の整備・環境設営に努める。	<input type="checkbox"/> 「花いっぱい運動」の推進 <input type="checkbox"/> 安全点検の実施と改善 <input type="checkbox"/> 掲示教育の工夫と適正な言語環境の整備 <input type="checkbox"/> 学校版環境ISOの実践 <input type="checkbox"/> 学校図書館の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週愛校作業で学級・学校花壇への花苗植えや草取り、一人一鉢運動、地域ボランティアによる菊鉢等を行い花いっぱいの学校作りができています。花壇周りの樹木を伐採したことで日当たりがよくなり、見晴らしもよくなりました。 ・毎月校舎内外の安全点検を実施、事故につながるような箇所を早期発見、早期修理に務めている。特に遊具、サッカーゴールの固定の点検を確実に行っている。 ・ポスター掲示と学習成果の掲示は定期的に張り替え、動的な掲示を目指している。ポスター掲示は委員会活動で、学習成果の掲示は担任・担当で行っている。張り替え変化が見えた時、児童は興味を示す。 ・「けやきっこ」宣言の取組、隅々まで掃除とリサイクルが今年重点項目。「クリーン大作戦」は年2回実施し、全職員が自分の学級以外の掃除場所をチェックする。無言掃除と隅々の掃除を点検することで掃除の態度がとてよくなっている。 ・牛乳パック回収（目標6000枚：トイレットペーパーに交換）とアルミ缶リサイクルを実施。 ・学校教育推進委員会を中心とした図書室経営と国語教材の並行読書、未来館との連携を行っているが、昨年度よりも読書量が少なくなっているのが課題である。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ○花いっぱい推進されており、学校の周りが潤いのある環境となっております。 ○掲示板はいろいろなコーナーがあり、それぞれに工夫があった。 ○花壇等はよくお世話されており、いつも花がたくさん咲いている。 ○花壇は大変美しい。美しい環境はそれにふさわしい心を育てると思います。 ○掲示物は多すぎるような気がした。もう少し、すっきりとはいかないものかと思う。 ○環境整備が様々な形で行われ、子ども達の心の教育につながっていると思う。 ○掃除の仕方は中学校でも課題になるので、ほうきの使い方やぞうきんのかけ方などを身に付けてくれるとありがたい。 ○いつ来校してもきれいにしているばかりでなく、花から掲示板に至るまで整えられていて感心します。

<p>6 教職員の資質・専門性の向上</p>	<p>教職員の資質専門性を向上させ、授業力、教師力の向上に努める。</p>	<p><input type="checkbox"/> 人権感覚を磨き合う教職員集団</p> <p><input type="checkbox"/> 不祥事防止研修の充実</p> <p><input type="checkbox"/> 「くまもとの教職員像」の意識化</p> <p><input type="checkbox"/> 研究授業の積極的な実践による「授業力」の向上</p> <p><input type="checkbox"/> 校内研究の積極的な推進</p>	<p>・ 現地学習会、菊池恵楓園現地研修の復講、各種人権教育研修会への参加を通して常に人権感覚の質を高める努力を継続している。</p> <p>人権教育のレポートを全職員が書いて、報告会を実施している。</p> <p>・ 体罰、不適切指導の防止、不祥事が起こる状況の研修、「飲酒運転しない宣言書」の作成、不祥事の新聞記事の回覧等を実施し常に危機意識を持っている。不祥事はない。これからも起こさない。</p> <p>・ 全員が研究授業を実施した。授業研究会には学校外から講師をよび、授業を違った視点から批評してもらった。ワークショップ型の授業研究会は対話しながら課題を発見・解決をする効果的な研修法である。</p>	<p>B B</p>	<p>○ 道徳や5・6年生の英語の教科化が次期指導要領で打ち出されているので、教育課程のマネジメントが益々難しくなってくるのではないかと考えます。児童に向き合う時間を確保しつつ、生きる力を育成していくご苦労を思いつつ、「笑顔あふれ、腫かがやく『けやきっ子』の育成」に向けてエールを送ります。</p> <p>○ 不祥事は一切無い。当然のことですが、これは素晴らしい事だと思います。</p> <p>○ 常に研修を行っていくことは大切だと思う。</p>
----------------------------	---------------------------------------	--	---	------------	---